



2000年四国ゴルフ連盟20周年記念ゴルフ大会

新たな飛躍めざし...



2000.10.23 創刊号

発行
四国ゴルフ連盟
〒790-0003
愛媛県松山市三番町4丁目9-6
シャトーテル松山
電話089-931-2120
ファクシミリ089-931-1877

知恵・力出し合って

四国ゴルフ連盟は創立二十周年の記念ゴルフ大会・式典を十月二十三日、愛媛県温泉郡川内町の松山ゴルフ倶楽部で開いた。連盟誕生から二十年の「節目」を祝い、二十一世紀へ向け四国ゴルフ界の新たな飛躍の出発点にしようという。加盟クラブ役員、来賓ら約百三十人が参加した。明るい秋空の下、参加者たちは



21世紀のゴルフ界を支えるのは若い力。連盟のゴルフ教室で練習に励むジュニアたち(8月、愛媛北条CCで)



あいさつ

四国ゴルフ連盟理事長
大亀孝裕

連盟二十周年を迎えて

のゴルフブームに乗って四国でもコース新設が相次いだ。当初、四十余だった加盟クラブは、五十九クラブの組織に成長した。小世帯ながらも全国規模の競技会を制覇したり、海外で活躍する優秀選手を育てるなど多くの実績を残しているのは評価されよう。とはいえ、この二十年の道のりは平坦ではなかった。石油ショック以来の経済変動の中で、加盟クラブは浮沈を繰り返してきた。順調に伸びてきた入場者総数も平成九年の二百九十万人(連盟調べ)をピークに減少に転じてい

る。バブル崩壊後の長引く景気低迷が影を落としている。各加盟クラブは営業努力に懸命だ。料金引き下げ、多様なコンペ開催、セルフプレー拡大などで効果をあげている。が、近い将来、日本が確実に高齢化・少子化、人口減時代を迎えることを考えれば当面の業績改善策だけで「万全」とはいえない。二十一世紀を見据えた対策、体制づくりが急務だ。ジュニア・女性プレイヤーの育成拡大が叫ばれてきた。しかし、掛け声だけで組織的な取り組みにはなっていない。特にジュニア育成は底辺拡大にはかせぬ課題である。ゴルフが国体の正式種目に加わったのを機に関係業、体協、学校、地域社会なども連携し育成に本腰を入れるべきだ。

本日はご多忙の中を当連盟発足二十周年の記念ゴルフ大会・式典にご参加いただき誠に有難うございました。特に加戸愛媛県知事、日本体育協会の安西会長、日本ゴルフ協会の平田副会長、中国ゴルフ連盟からも河野常務理事のご臨席をいただき厚く御礼申し上げます。さて、当連盟の発足については先輩方が大変ご苦労されたよう

四国ゴルフ連盟の歩み

- 昭和55. 7.23 中四国ゴルフ連盟第2回理事会で四国側の連盟分離が提案され、退会時期が昭和56年1月1日と決定
- 10.20 四国ゴルフ連盟創立総会(シャトーテル松山で)
- 11.13 日本ゴルフ協会へ入会申請書を提出
- 12.10 日本ゴルフ協合理事会で入会が承認された
- 昭和56. 1. 1 日本ゴルフ協会へ入会(全国8番目の地区連盟)。クラブ数43で発足。初代理事長は山中義貞氏(松山GC理事長)。加盟クラブの総入場人員は約169万人であった
- 昭和59.12.31 年間入場人員が200万人を突破
- 昭和61. 2.14 大見正俊氏(新居浜CC理事長)が2代目理事長に就任(山中義貞前理事長が昭和61.2.2逝去)
- 昭和62. 7. 5 第28回日本女子アマチュアゴルフ選手権競技で橋本愛子選手(鳴門CC)が優勝
- 平成 1. 2.16 第20回日本女子オープンゴルフ選手権競技で橋本愛子選手(鳴門CC)がベストアマに
- 12.31 桑原慶人氏(松山GC理事長)が3代目理事長に就任
- 平成 2. 12. 3 年間入場人員が250万人を突破
- 平成 5. 11.28 創立10周年記念事業のゴルフ大会を松山GCで開催(プレー参加者60名)
- 12.20 第3回日本シニアオープンゴルフ選手権競技で真井純一選手(御所CC)がベストアマとなる
- 平成 7. 8.11 土佐山田GC(高知県)の連盟加盟により、クラブ数が50クラブとなる
- 平成 8. 11.24 第1回日本ジュニアゴルフ選手権競技男子15~17才の部(高校)で吉田敬三選手(明德義塾高2年)が優勝
- 平成 9. 12.31 第6回日本シニアオープンゴルフ選手権競技で黒川倫行選手(愛媛GC)がベストアマとなる
- 平成 10. 7.10 年間入場人員が最高の290万8000人となった
- 10.23 第31回世界ジュニアゴルフ選手権競技(米国カリフォルニア州、サンディエゴ トーリーパインズGC)高校生部で弘井太郎選手(明德義塾高3年)が優勝
- 平成11. 2.18 第6回日本女子シニアゴルフ選手権競技で湊朱美選手(志度CC)が優勝
- 8.20 大亀孝裕氏(愛媛ハイランドGC理事長)が第4代目理事長に就任(桑原慶人前理事長が平成11.1.10逝去)
- 11.19 第5回日本ジュニアゴルフ選手権女子15~17才の部(高校)で高松聖選手(香川西高年)が優勝
- 第4回日本女子ミッドアマチュアゴルフ選手権競技で二宮薫選手(今治CC)が優勝

も前向きな姿勢に転じられました。また、日本ゴルフ協会への入会も明るい見通しが立ったので、同年十月には四国連盟の創立総会を開くまでに至りました。そのころ私どもは中四国ゴルフ連盟に加盟していましたが、このゴルフ場新設ブームの結果、加盟クラブは百を超える状態となり、昭和五十六年一月一日をもって四

ゴルフをみんなのスポーツに

国ゴルフ連盟が正式にスタートいたしました。ここで先輩各位のご尽力に改めて敬意を表したいと思います。発足当初は四十三クラブだった当連盟も、今では五十九クラブにふくらみました。加盟クラブのみならず、皆さんのご努力で、各競技でも立派な成果をあげるまでに成長しました。そして私たちの四国ゴルフ連盟は今年で「二十歳」の成人式を迎えました。確かに長びく景気の低迷で入場者数はこのところ伸び悩んでいますが、長年のみなさんのご厚意に報ゆるためにもささやかですがゴルフ大会をやるとういうことになりました。ゴルフが大衆化したとはいえ底辺拡大は今後も大きな課題。特にジュニア・女性の育成強化の成否はゴルフ界の未来を決定づけるでしょう。「ゴルフをみんなのスポーツに」を合い言葉に、より一層のご支援ご指導をお願いします。

おらが倶楽部でござる

其の一 松山ゴルフ倶楽部

松山ゴルフ倶楽部は、愛媛のゴルフ界の草分けとして、地元の方々の多大のご協力を得て、昭和三十三年9ホールのゴルフ場として、この川内町に誕生しました。今年で四十二年を迎えることとなります。開場当時の会員数は約三百人でした。

その後、三十九年に9ホール増設し、同時に現在の倶楽部ハウスも竣工し、やっとゴルフ場としての体裁が整ったわけであり、コースの設計につきましては、有名な英国人設計家チャールズ・フュー・アリンソンの愛弟子の上田治氏によるもので、地形の制約もあって、全体的に箱庭的ではあります。変化に富んだ設計は各ホールごとその趣を異にし、戦略性

を備えた名コースといえましょう。名物ホールは砂地獄

特に、8番のショートホールは、当倶楽部の名物ホールで、大きく口をあけたアリンソンのバンカーは、時に人間の精神状態を変えてしま

名設計家の偉大な遺産

うことがあります。また、最終18番のロングホールは豪快な打ち下ろしのホールで、ティーショットの落とし所、セカンドショットのねらい場所によって過去四十年間さまざまなドラマを生んで来

ドラマ生み 続け40余年

その後、ゴルフ場も近代化の波に晒され、折角運動のために来場しているにも拘わらず、いち早くモノレール、続いてゴルフカートの導入と、ゴルフ本来のあり方から逸脱した感があります。これも

で十七回目を迎えますが、参加者は年を追うごとに増加し、今年からジュニア選手も加わり、大変人気があり、愛媛ゴルフ界のレベルアップにも多大の貢献をしているものと自負しております。

また、平成六年から毎年五月五日のこの日には、川内町体育協会主催の「川内町親善ゴルフ大会」が催され、川内町の皆様方にご利用頂いておりますが、年を追うごとに盛況さを増して来ております。

通称「川内」といわれております松山ゴルフ倶楽部は、愛媛のゴルフ場の老舗として、その名に恥じることはないよう一層の研鑽を積んで行きたいと考えます。皆様方のご来場を心からお待ち申し上げております。

（宮内一彦・松山ゴルフ倶楽部支配人）

また、平成十四年の「二〇〇二年よさこい高知国体」ゴルフ競技は、同県下の二町一村四開場で開催される。四国ゴルフ連盟では、高知県アマゴルフ協会からの依頼を受けて4大会開催への積極的支援をする。ゴルフ競技会場は次のとおり。日程未定。

成人男子「土佐CCC(夜須町)」
成人女子「土佐山田GC(土佐山田町)」
少年男子「黒潮CCC(夜須町)」
少年女子「グリーンフィールGC(日高村)」



松山ゴルフ倶楽部
〒791-0314 愛媛県温泉郡川内町大字松瀬川997
TEL089-966-2100(代)

日本ゴルフ協会は平成十三年に「日本ゴルフ一〇〇年祭」の開催を決め、その基本構想を先ごろ発表した。

来年は日本最初のゴルフコースが神戸市六甲に英国人アーサー・グルームの手で開設されてちょうど百年に当たるのを機に、「一〇〇年祭」の開催でわが国ゴルフのさらなる発展への出発点にしようというもの。関連十六団体参加の総ぐるみ体制で、一年間にわたり多彩な行事を展開する。

主な企画案には「ゴルフ週間(毎年八月一日〜七日)」の制定やゴルフ記念切手の発行、シンポジウム、フォーラム開催、ジュニアゴルファーの健全育成のための指導員登録制度実施など。その他参加各団体もそれぞれ独自の記念企画を展開する。(イラストは一〇〇年祭のロゴマーク)

ルール帳から

【救済のニアレスポイント】
平成十二年の規則変更で定義され、手順も明確になった。救済が適用されるケースは従来どおりだが、救済を受けることをマーカー、競技委員に伝え、了承を得てボールを拾い上げる前

に、まずニアレスポイントを決め、その位置をマーカー「基点」とする。この「基点」がニアレスポイントであり、ボールのあった地点ではないことに注意。その後のボールのドロップエリア、ドロップ方法、再ドロップなどの手続きは従来どおり。

【マッチング・スコアカード方式】
日本ゴルフ協会主催競技に

なる大会でのタイの順位決定方法のこと。本来はサドンデスのプレーオフで決定するが、日没や天候などの理由で実施が困難な場合に限り、次の順番で決定する。
①最終日最終9ホール(10〜18番の合計スコア)②3ホール(16〜18番の合計スコア)③18番ホールのスコア

3町村4開場で高知国体ゴルフ競技

平成十四年の「二〇〇二年よさこい高知国体」ゴルフ競技は、同県下の二町一村四開場で開催される。

日本ゴルフ協会の平成十三年に「日本ゴルフ一〇〇年祭」の開催を決め、その基本構想を先ごろ発表した。

来年は日本最初のゴルフコースが神戸市六甲に英国人アーサー・グルームの手で開設されてちょうど百年に当たるのを機に、「一〇〇年祭」の開催でわが国ゴルフのさらなる発展への出発点にしようというもの。関連十六団体参加の総ぐるみ体制で、一年間にわたり多彩な行事を展開する。

「ゴルフ週間」制定やシンポ、切手の発行 来年の「ゴルフ100年祭」

日本ゴルフ協会は平成十三年に「日本ゴルフ一〇〇年祭」の開催を決め、その基本構想を先ごろ発表した。

来年は日本最初のゴルフコースが神戸市六甲に英国人アーサー・グルームの手で開設されてちょうど百年に当たるのを機に、「一〇〇年祭」の開催でわが国ゴルフのさらなる発展への出発点にしようというもの。関連十六団体参加の総ぐるみ体制で、一年間にわたり多彩な行事を展開する。

編集を終えて

「かわら版」と銘打つたものの看板倒れの感が拒めません。連盟の広報誌として、一面はどうしても堅い情報に片寄りがちです。その分、二面は「遊び」があつていいと考えました。が、また生煮えです。ゴルフの面白い話題以外に「〇〇町の紅葉が見える。ゴルフ帰りにどうぞ」「コース荒らしのイノシシ撃退」なんていう楽しい話があつてもいいでしょう。読者の情報提供を期待しています。▲連載企画「おらが倶楽部でござる」は初回、松山GCに登場しました。次回からは開場順に回ります。どのクラブにも特色、個性があります。難ホール、美しい景色、食堂自慢、コース維持の苦勞、ジュニア育成や環境対策、地域交流などテーマは無限。単なるコースガイドに終わらないよう大いにPRを▲「かわら版」は連盟からの一方的なお知らせではなく読者と一緒になる新開を目指しています。(意見、ご感想をどうぞ。)(T)

リレーエッセイ 私とゴルフ

手島皓一

私とゴルフの関係は戦後のインドネシアで始まります。戦後、すぐ英軍がきて我々を管理し、私たちは連合軍との連絡将校として二年間残りました。その時に英軍将校の中でゴルフをしようという連中がいて、日本軍からゴルフと英語の達者な自動車廠の扇谷大尉という人に出してもらいました。その時に始めてゴルフなるものを知ったのです。

ゴルフ事情に今昔の感

この方には、帰国するまでと帰国後も随分お世話になりました。戦前の英国ダンロップの東京支店長で、帰国後すぐにダンロップに復帰し、英国からゴルフボールの製造機械を持って帰り製造を始めた日本ゴルフ産業の草分けの一人です。その後、ダンロップは現在の住友系になり、本格的にゴルフ

業界に出たのです。私は、坂出市城山の高松カントリー倶楽部が出来た翌年の昭和三十年に高松に赴任してきて、友人からこの機会にゴルフを始めるようにと言われましたが、そのころは釣りや二つの高校に柔道を教えていたので暇がなく「そんなオジイのすることは嫌だ」と断っていました。

その後三十七年ごろ扇谷さんが「ぜひゴルフを始めなさい」と、道具一式を贈ってくれました。それで始めたのが四十二歳のころで、始めてみて「もともと早くからやるべきだった」と悔しがった次第です。

最初のコンペは四国の医師、歯科医師、薬剤師で作った三師会が



四国山脈に向かって打ち下ろす18番ホール。前方に見えるのが倶楽部ハウス



その後三十七年ごろ扇谷さんが「ぜひゴルフを始めなさい」と、道具一式を贈ってくれました。それで始めたのが四十二歳のころで、始めてみて「もともと早くからやるべきだった」と悔しがった次第です。

最初のコンペは四国の医師、歯科医師、薬剤師で作った三師会が



日本ゴルフ協会の平成十三年度女子公式競技のうち二大会の四国開催がこのほど決まった。

「第6回女子ミッドアマ選手権競技」が十一月、香川満濃ゴルフ倶楽部で、「日本女子シニア西日本予選B」日程未定が愛媛県の道後ゴルフ倶楽部で開かれる。